

VI. 社会的貢献活動

1. 湯浅農場

1) 見学

(1) 7月16日 近畿大学泉州高校（大阪府）

生徒66名，引率教員4名

近大発・次世代エネルギーバイオコックスを燃料とする暖房装置が設置された4号マンゴーハウスの建設（平成26年12月完成）を受け，マンゴー栽培の見学とバイオコックス研究所井田先生と水野先生の協力により，バイオコックスのミニ講義および製造実演を行った。井田先生に苦勞話を交えて，長きにわたり研究されてきた成果の講義に生徒たちは真剣に聞き入っていた。

また，1か月後に収穫時期を迎えるマンゴーハウスを見学し，生徒からは口々に「おいそ〜，食べてみたい！」との声が聞かれた。フィールドワークならではの五感で感じて学ぶという本学の実学教育の精神が生徒たちの好奇心を刺激した。



写真 井田先生のミニ講義

(2) 8月1日 奈良育英中学校・夏期合宿（奈良県）

1年生14名，引率教員4名

8月1日は湯浅農場，8月2，3日は生石農場で体験実習を行った（生石農場については次項に記載）。

湯浅農場では，井田先生のバイオコックスについての講義とバイオコックス製造トラックでのバイオコックス製造を体験した。今回は農場における実演が2回目ということもあり，新たな試みとして，農場で栽培しているマンゴー，ウンシュウミカンおよびウメのせん定枝葉を利用してバイオコックスを試作した。とてもうまくでき上がり，バイオコックスのほのかな香りに女子から「わー素敵！」との歓声が聞かれた。

また，農場内の柑橘遺伝資源保存園やマンゴーハウスを見学した。農耕機の試乗では，特に男子が大興奮の様子であった。机上の学習だけではなく，五感を刺激する教育と生徒さんたちのキラキラと輝く眼差しに，奈良育英中学校および我々教職員一同，来年も引き続き，本見学に取り組んでいくことを確認した。



写真 奈良育英中学校

(3) 10月16日 白崎小学校（和歌山県）

5年生9名，引率教員2名

柑橘遺伝資源保存園，収穫後のせん定を行っているマンゴーハウスを見学した。また，農耕用車両を広場に展示し，日頃見る機会がほとんどないものに興味を持っている様子だった。



写真 白崎小学校

2) イベント参加

(1) 12月13, 14日 第3回紀の川市生涯教育フェスティバル (和歌山県)

貴志川生涯学習センターおよび貴志川体育館

本学生物理工学部および先端技術総合研究所(海南市)とのジョイントイベントであり、附属農場も出展した。日々の栽培や飼育業務に加え、農場見学等、日頃の取り組みについて、写真および季節に応じた話題を掲載した広報書面(月1回刊行)を中心にパネル展示を行った。同フェスティバルに参加した多くの一般来訪者の方々から附属農場に対して関心が寄せられ、出展を通じてアピールをすることができた。



写真 紀の川市生涯教育
フェスティバル

2. 生石農場

1) 体験学習

(1) 8月2~3日 奈良育英中学校・夏期合宿 (奈良県)

1年生14名, 引率教員4名

職員による導入講義では、農場が山岳部にあることから危険な動物について説明し、ホルマリン漬けされたマムシの標本を見てもらった。午前中はジャガイモ掘りと土落しを行い、飼育しているアイガモに触れてもらった。その繊細な感触に生徒たちは興味津々の様子であった。午後からは教員による「自然のおくりもの・ウメにまつわるミニ講義」を行い、ウメシロップづくりと採れたてのトウモロコシを試食した。食べている顔は特にみなさんご満悦の様子であった。夜はグループディスカッションが行われ、本体験学習で学んだことをレポートにして発表会が行われた(写真)。



写真 ウメシロップ作りとグループディスカッション

(2) 8月28~29日

有田川町立八幡中学校職業体験学習(和歌山県)

2年生3名

職業体験学習 合鴨飼育体験(餌やり・畜舎清掃)

ほ場での作物栽培(トウモロコシ, 秋ジャガイモ等)



写真 八幡中学校職業体験学習

平成26年見学および視察者数

合計124名